

基本情報		
1.所属	1-1.組織名	株式会社イノベーションプラス
	1-2.部署名	新規事業開発部
	1-3.組織の住所	東京都港区赤坂8-5-41イースタン青山ビル5階
2.担当者	2-1.役職	代表取締役
	2-2.氏名	小坂武史
3.連絡先	3-1.電話	03-6663-8956
	3-2.メールアドレス	kosaka@innovationplus.jp
4.関連ホームページ	4-1.HP①	https://www.innovationplus.jp/
	4-2.HP②	https://sugubizi.jp/
	4-3.HP③	https://poccess.jp/
支援内容		
5.支援領域	5-1.選択式	☐ 資源評価・管理に向けた支援 ☐ 水産業の成長産業化に向けた支援 ☐ 漁村の活性化に向けた支援 ☐ 省人化・省力化に向けた支援 ☒ その他
	5-2.その他の詳細	港の活性化としてのDX支援（eコマースLiveモールの構築・運営支援）
6.デジタル化支援の可否	☒ 可 ☒ 不可	
7.活動・連携エリア	7-1.エリア情報	☒ 全国 ☐ 北海道地区 ☐ 東北地区 ☐ 関東地区 ☐ 中部地区 ☐ 近畿地区 ☐ 中国地区 ☐ 四国地区 ☐ 九州地区 ☐ 沖縄地区
	7-2.具体的なエリア情報	
提供可能な支援内容		
8.提供可能な分野	8-1.選択式	☐ 資源管理 ☐ 生産（遠洋漁業） ☐ 生産（沿岸漁業） ☐ 生産（沖合漁業） ☐ 生産（養殖業） ☐ 加工 ☒ 流通 ☒ 消費 ☒ 観光 ☒ 海業 ☐ その他
	8-2.その他の詳細	
9.支援方法	9-1.選択式	☒ デジタル化領域におけるコンサルティングの提供 ☒ デジタル化に関する商品やサービスの提供 ☒ 共同研究や実証に関する相談 ☐ その他
	9-2.その他の詳細	
10.支援方法で「デジタル化に関する商品やサービスの提供」を選択した場合の詳細	10-1.選択式	☐ 資源評価・管理に関するデジタル化支援 ☐ 水産業の成長産業化に関するデジタル化支援 ☐ 漁村の活性化に関するデジタル化支援 ☒ その他
	10-2.その他の詳細	港の活性化としてのデジタル化支援（eコマースライブモールの構築・運営支援）
11.支援内容の詳細①	11-1.支援タイトル	港の活性化としてのデジタル化支援（eコマースライブモールの構築・運営支援）
	11-2.課題解決の方向性	港のデジタル化を進めるために、技術に詳しい人がいない、経験者がいない、対応したことがない。という課題をパッケージを活用することで解決します。
	11-3.具体的な支援内容	港や組合で、ECモールを本支援（パッケージを活用）で簡単に、専門家いらずで構築し、モールの出店者には、販売商品の画像などの情報を登録するだけで、オンライン販売ができるようになります。また、PRとしてSNS（Youtube、Youtubeライブ）を簡単に運用できるようになります。港の情報をスマホで簡単に撮影し、Youtubeライブでプロモーションし、そのままオンライン販売するライブコマースが、専門家がいなくても簡単に運用できるデジタル化支援パッケージです。
	11-4.料金モデル	初期構築の準備とパッケージ費用：150万円（定価）、月額運用費用：4万円/月（定価）
12.支援内容の詳細②	12-1.支援タイトル	港の活性化としてのデジタル化伴走支援
	12-2.解決の方向性	デジタルの専門家がいらない、何から始めれば良いか、誰に相談すれば良いかわからない等の課題に伴走する形で支援します。
	12-3.具体的な支援内容	課題のヒアリングから、解決策の検討、実行する際のプロジェクトと一緒に参加する形で支援します。
	12-4.料金モデル	検討初期段階からの伴走費用として、10万円からプロジェクトの内容により費用提案します。
13.支援内容の詳細③	13-1.支援タイトル	
	13-2.課題解決の方向性	
	13-3.具体的な支援内容	
	13-4.料金モデル	
14.支援内容の詳細④	14-1.支援タイトル	
	14-2.課題解決の方向性	
	14-3.具体的な支援内容	
	14-4.料金モデル	
15.支援内容の詳細⑤	15-1.支援タイトル	
	15-2.課題解決の方向性	
	15-3.具体的な支援内容	
	15-4.料金モデル	

支援実績		
16.支援実績例①	16-1.時期	2021年から
	16-2.場所	神奈川県横浜市
	16-3.支援した対象者	青果卸事業者
	16-4.その他関係団体	
	16-5.提供した支援内容	野菜のドライブスルー販売モールの構築、運用支援
	16-6.支援効果	コロナ禍で売上が90%減ってしまったことをドライブスルー（オンライン販売）で提供することでカバーした。その後、米や乾物等々まで商品を増やしている
	16-7.概算の経費	初期費用：100万円 月額運用費用：5万円
17.支援実績例②	17-1.時期	2022年から
	17-2.場所	兵庫県神戸市など
	17-3.支援した対象者	お米生産者と本サービスのために起業したスタートアップ
	17-4.その他関係団体	
	17-5.提供した支援内容	生産者が自宅用とする米を玄米でオンライン販売するモールの構築・運用支援 PCのスキルのない生産者がモールに出展し、玄米、精米器などをオンラインで販売できる仕組みを提供
	17-6.支援効果	単一の玄米の販売だけでなく、毎月継続提供する（サブスク）ことができ、玄米だけでなく、玄米ブレッドや海苔や味噌など商品展開が進んでいる
	17-7.概算の経費	初期費用：150万円 月額運用費用：5万円
18.支援実績例③	18-1.時期	
	18-2.場所	
	18-3.支援した対象者	
	18-4.その他関係団体	
	18-5.提供した支援内容	
	18-6.支援効果	
	18-7.概算の経費	
19.支援実績例④	19-1.時期	
	19-2.場所	
	19-3.支援した対象者	
	19-4.他関係団体	
	19-5.提供した支援内容	
	19-6.支援効果	
	19-7.概算の経費	
20.支援実績例⑤	20-1.時期	
	20-2.場所	
	20-3.支援した対象者	
	20-4.その他関係団体	
	20-5.提供した支援内容	
	20-6.支援効果	
	20-7.概算の経費	
その他		
21.その他	備考・アピール事項等	海業支援パッケージとして、提案中。
水産庁ホームページへの掲載の可否		
22.水産庁ホームページへの掲載の可否		☒ 可 ☐ 不可